



第2回総合教育会議

印西市における公民館の現状・課題と 今後の方向性について

令和8年8月18日 印西市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課 印西市立公民館

目次

1.現状

- ① 利用・参加の状況
- ② 学びと活動を支える取組
- ③ 職員・運営体制
- ④ 中央公民館の施設状況と移転検討

2.課題

- ① 利用・参加
- ② 学び・つながり
- ③ 職員・運営体制の強化
- ④ 中央公民館の施設の在り方

3.今後の方向性

- ① 利用・参加の入口を広げる
- ② 学びの継続と、人とのつながりを支える
- ③ 各館の役割を生かし、5館を横断して支援する
- ④ 移転の検討を契機に、新たな中央公民館を目指す

1.現状

- ① 利用・参加の状況
- ② 学びと活動を支える取組
- ③ 職員・運営体制
- ④ 中央公民館の施設状況と移転検討

2.課題

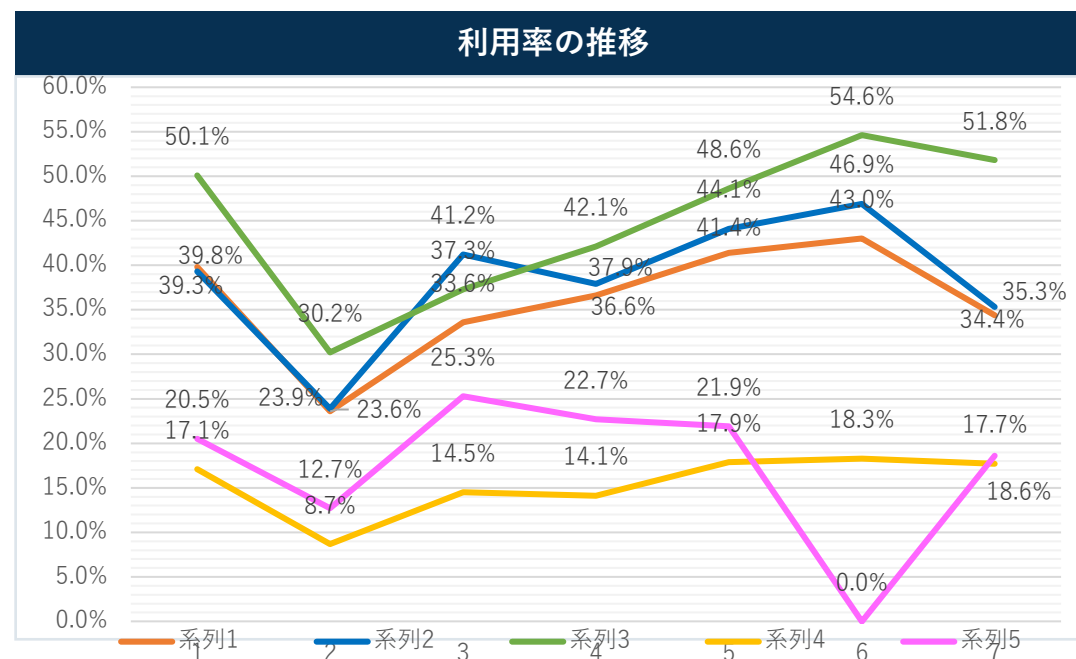
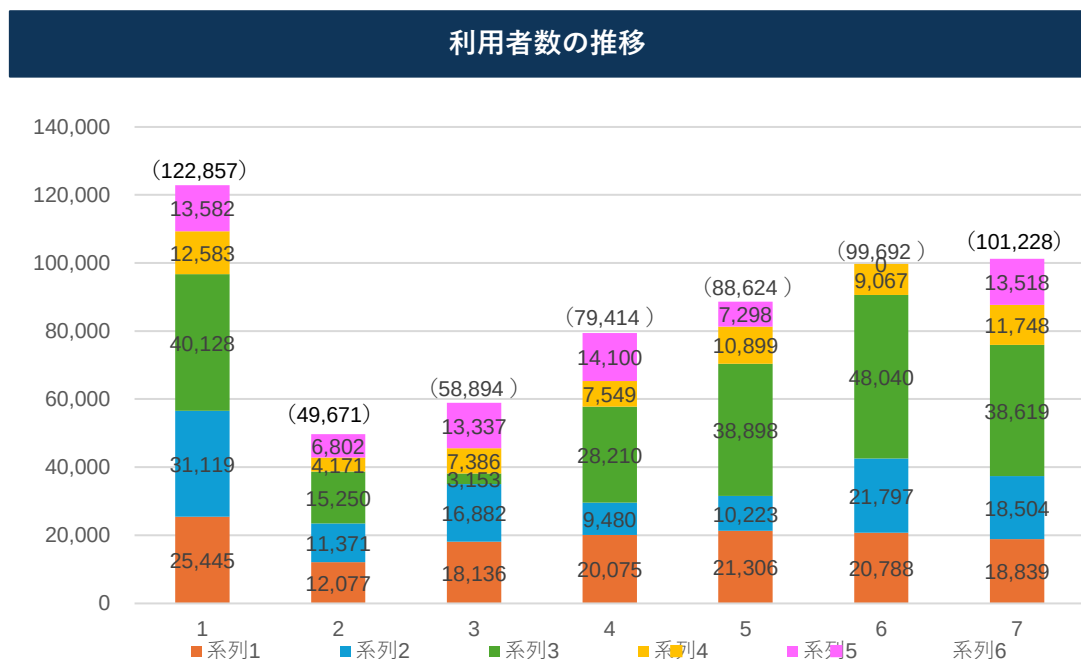
- ① 利用・参加
- ② 学び・つながり
- ③ 職員・運営体制の強化
- ④ 中央公民館の施設の在り方

3.今後の方向性

- ① 利用・参加の入口を広げる
- ② 学びの継続と、人とのつながりを支える
- ③ 各館の役割を生かし、5館を横断して支援する
- ④ 移転の検討を契機に、新たな中央公民館を目指す

1. 公民館の現状について ①利用・参加の状況

市内5公民館は、貸館と個人学習室の開放を通じて、市民の学習や活動の場を提供しています。



コロナ感染拡大防止のため臨時休館（R2.2.29～R2.6.8） 諸室定員5割制限（R2.6.9～R3.11.2・R4.1.21～R4.3.24） 主催事業停止（R2.2.24～R2.9.30）
そうふけ（ふれあい文化館）大規模修繕工事（R3.5.1～R4.2.28） 小林（コミュニティプラザ）保全改修工事（R4.10.1～R5.9.30）
本埜公民館保全改修工事（R5.10.1～R7.3.31）

貸室は 団体利用が原則

主に市民で構成された団体による利用

個人の貸室利用は 原則、制限

個人の予約による貸室利用は原則認めていない

個人学習室は 自由利用

予約制の貸室ではなく、開館時間内に利用

各館週2日の 夜間開館

通常9時～17時、夜間開館日は21時まで

1. 公民館の現状について ②学びと活動を支える取組

公民館では、主催事業、団体育成、個人学習支援及び貸館を通じ、市民の学習と自主的な活動を支援しています。



主催事業

市民ニーズや社会的課題
を捉え、地域の特色
を生かした事業を実施



団体育成

利用団体の自主的な学習、
成果発表、公民館まつり等
を支援



個人学習支援

個人学習室を開放し、
市民の個人学習を支援



貸館

社会教育、生涯学習、会議
及び交流の場を提供



1. 公民館の現状について ③職員・運営体制

各館は地域に身近な拠点として、事業企画、団体支援、貸館、利用相談、施設管理など幅広い業務を担っています。

担っている主な業務



各館には社会教育主事の配置なし

中央

6人
正職員3
再任用・会計年度等3

小林

6人
正職員2
再任用・会計年度等4

そうふけ

6人
正職員3
再任用・会計年度等3

印旛

6人
正職員2
再任用・会計年度等4

本埜

4人
正職員3
再任用・会計年度等1

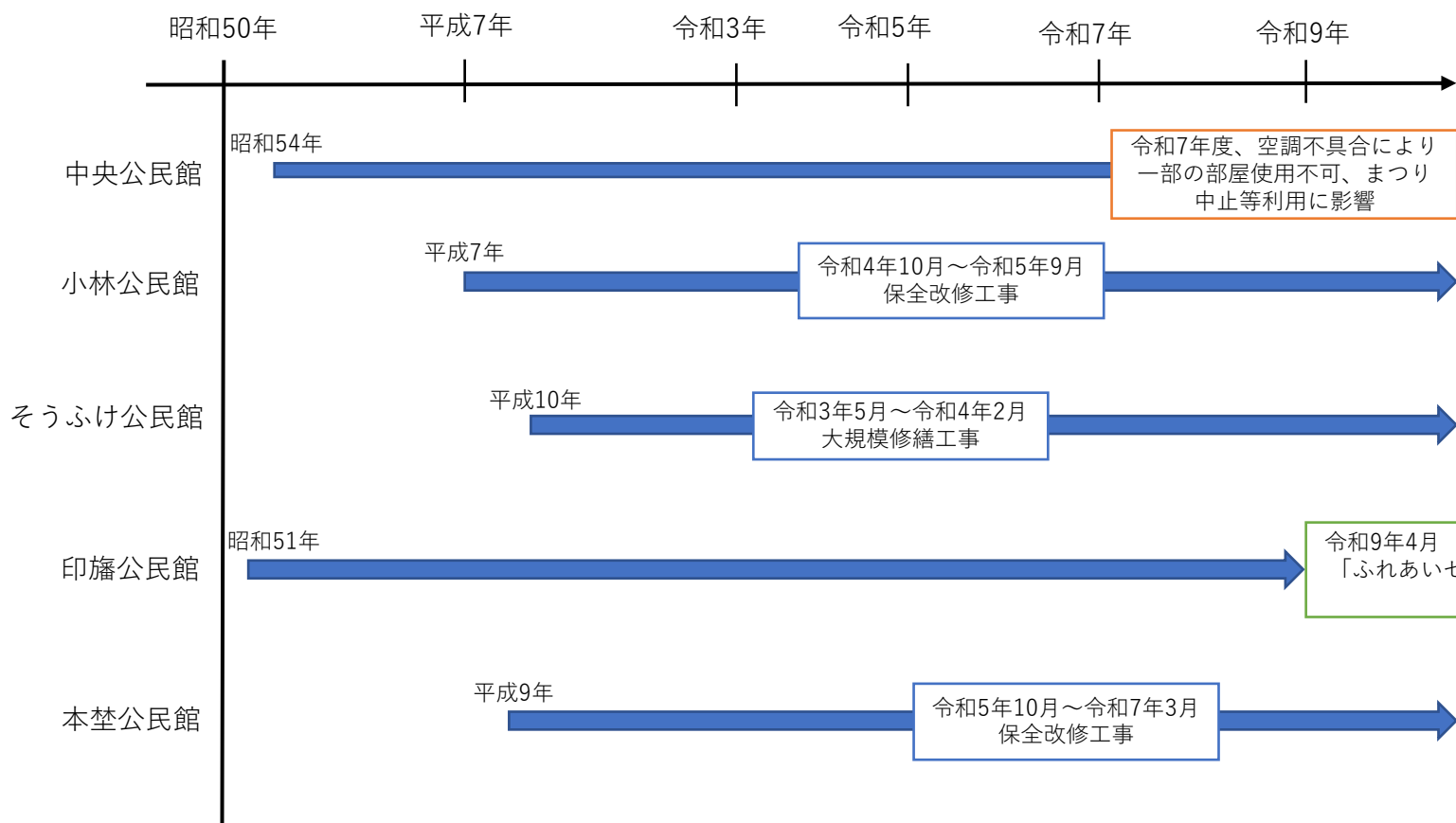
5館合計
28人

正職員13人
再任用・会計年度等15人

※ 休職、育休、兼務等は含まない

1. 公民館の現状について ④中央公民館の施設状況と移転検討

中央公民館は昭和54年の開館以来、大規模修繕の履歴がなく、設備不具合が施設利用に影響しています。



1.現状

- ① 利用・参加の状況
- ② 学びと活動を支える取組
- ③ 職員・運営体制
- ④ 中央公民館の施設状況と移転検討

2.課題

- ① 利用・参加
- ② 学び・つながり
- ③ 職員・運営体制の強化
- ④ 中央公民館の施設の在り方

3.今後の方向性

- ① 利用・参加の入口を広げる
- ② 学びの継続と、人とのつながりを支える
- ③ 各館の役割を生かし、5館を横断して支援する
- ④ 移転の検討を契機に、新たな中央公民館を目指す

2. 課題

- ・これからの公民館の目指す姿とは？

これまで支えてきた地域の学習・活動の基盤を大切にしながら、
誰もが気軽に立ち寄り、人や情報と出会い、
学びや交流から新たな活動が生まれ、地域へ広がる公民館

- ・公民館が抱える課題

現状	課題
① 利用・参加の状況	① 利用・参加 現行の利用条件と、個人利用や多様な利用ニーズとの間に隔たりがあります。
② 学びと活動を支える取組	② 学び・つながり 現在行っている学習支援と、その後の継続的な学び、人との交流、地域への広がりとのつながりが見えにくい状況です。
③ 職員・運営体制	③ 職員・運営体制の強化 各館が主催事業など幅広い業務を担う中、専門性や実践ノウハウを共有し、5館共通の課題を横断的に支える運営体制が確立されていません。
④ 中央公民館の 施設状況と移転検討	④ 中央公民館の施設の在り方 老朽化の状況を踏まえ、移転の検討を行い、新たな機能を備えた、だれでも気軽に立ち寄り、滞在して、交流できる中央公民館の在り方を整理する必要があります。

1.現状

- ① 利用・参加の状況
- ② 学びと活動を支える取組
- ③ 職員・運営体制
- ④ 中央公民館の施設状況と移転検討

2.課題

- ① 利用・参加
- ② 学び・つながり
- ③ 職員・運営体制の強化
- ④ 中央公民館の施設の在り方

3.今後の方向性

- ① **利用・参加の入口を広げる**
- ② **学びの継続と、人とのつながりを支える**
- ③ **各館の役割を生かし、5館を横断して支援する**
- ④ **移転の検討を契機に、新たな中央公民館を目指す**

3. 今後の方向性

公民館の課題を踏まえ、今後の方向性を4点に整理します。

課題	今後の方向性
① 利用・参加	① 利用・参加の入口を広げる。
② 学び・つながり	② 学びの継続と、人とのつながりを支える。
③ 職員・運営体制の強化	③ 各館の役割を生かし、5館を横断して支援する。
④ 中央公民館の 施設の在り方	④ 移転の検討を契機に、新たな中央公民館を目指す。

3. 今後の方向性 ①利用・参加の入口を広げる

現行の利用条件と多様化する利用ニーズとの隔たりを踏まえ、
個人利用、利用時間、参加料を伴う活動などの取扱いを検討するとともに、
用事がなくても気軽に立ち寄り、人や情報に出会える場づくりを検討します。

場の入口を広げる

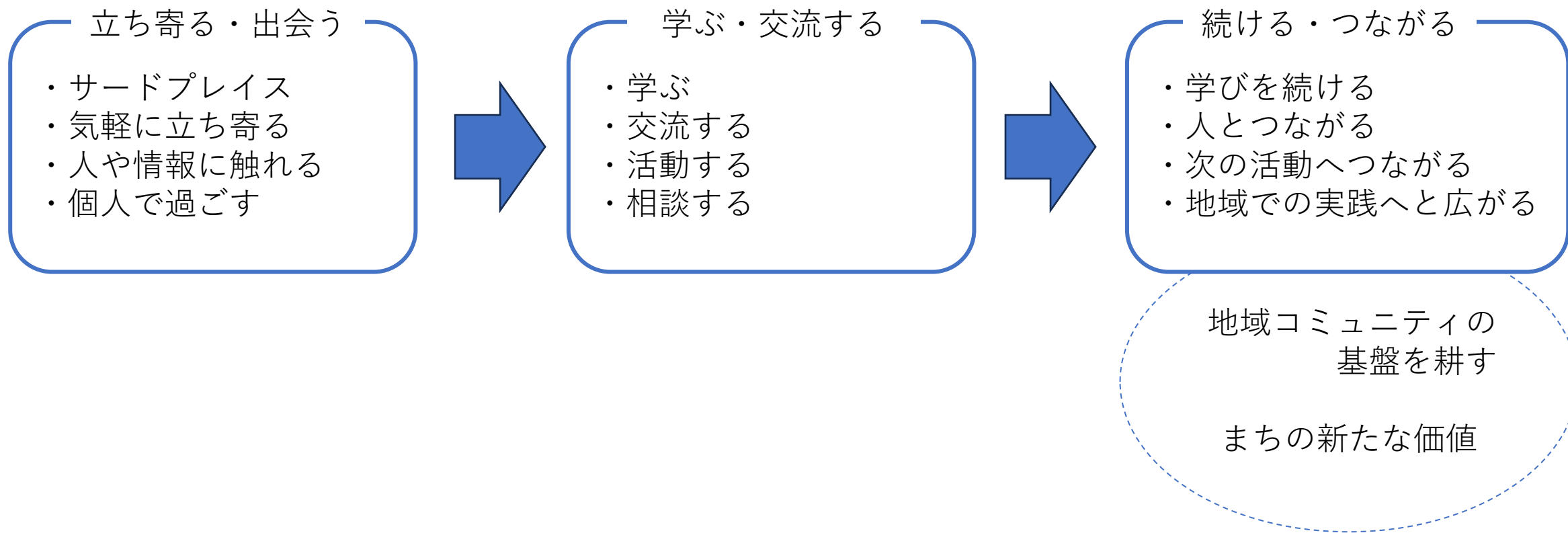
- ・ 雰囲気、居心地
- ・ 用事がなくても立ち寄れる
- ・ 気軽に滞在できる
- ・ 人や情報に出会える
- ・ 次の活動につながる

制度の入口を広げる

- ・ 個人利用の取扱い
- ・ 市内外の利用条件
- ・ 利用時間
- ・ 参加料等を伴う活動
- ・ 営利的利用の取扱い

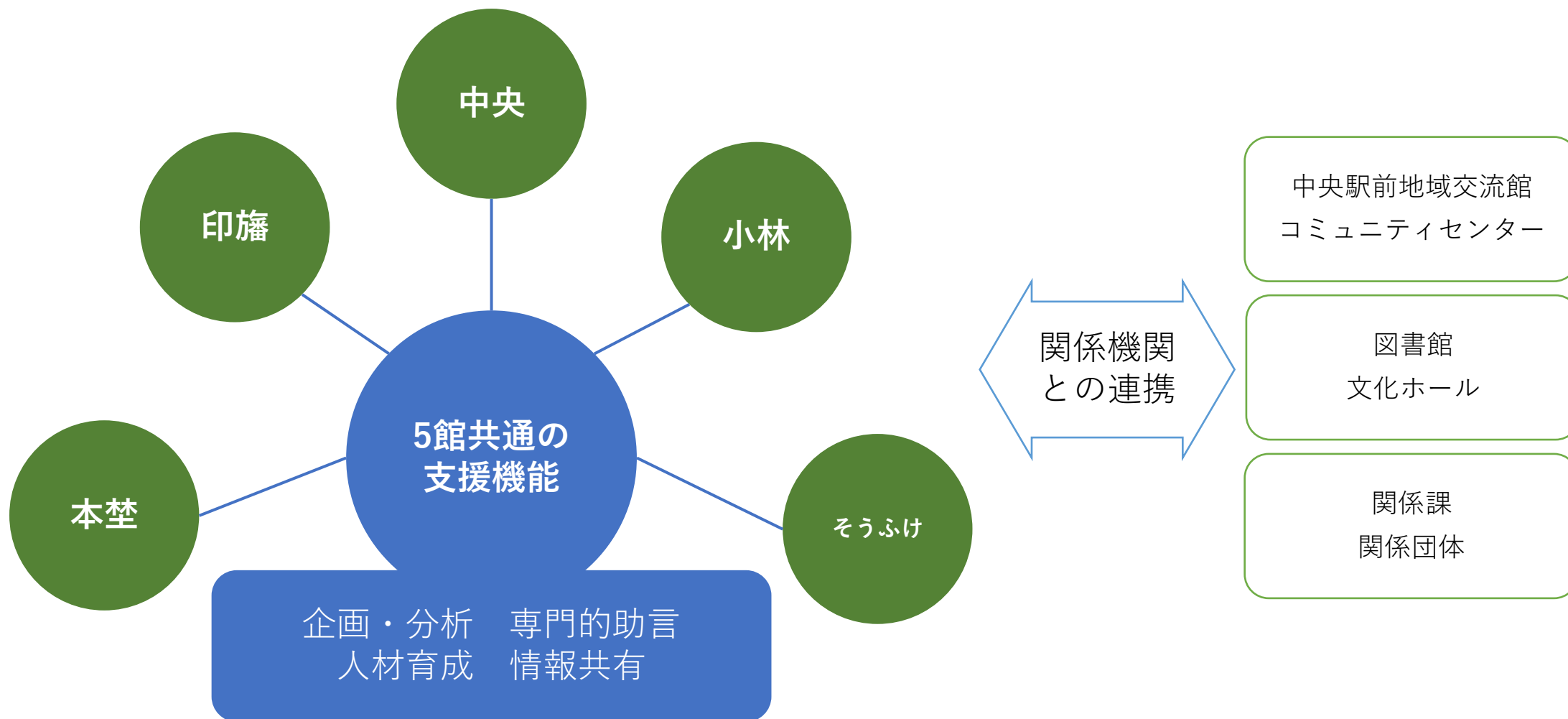
3. 今後の方向性 ②学びの継続と、人とのつながりを支える

学習機会を提供するだけでなく、
さまざまな世代や分野を超えた出会いと交流が賑わいを生み出し、
学びの継続を支えることで、次の活動や地域への広がりにつながる支援を行います。



3. 今後の方向性 ③各館の役割を生かし、5館を横断して支援する

各館が地域に身近な拠点として役割を担いながら、5館共通の課題について、
館を越えた連携と運営支援を行うとともに、図書館等の関係機関とも連携します。



3. 今後の方向性 ④移転の検討を契機に、新たな中央公民館を目指す

老朽化が進む中央公民館について、
木下駅前にぎわい広場への移転を含めて施設の在り方を検討し、
市民が日常的に立ち寄り、学び、交流できる新たな公民館を目指します。

